

P R O F I L I TTM

P R O F I L I TTM



ご 注 意

製品のご採用にあたっては、総合カタログの「ガラスを安全に、大切にお使いいただくために」、および各製品情報の注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

輸入元

日本板硝子株式会社

<https://glass-wonderland.jp/>

施工・販売代理店

日昌グラス株式会社

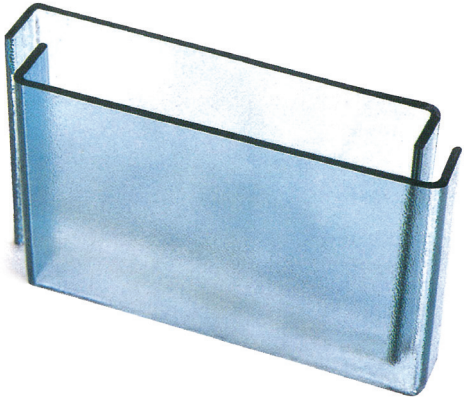
<https://www.nissho-g.co.jp/>

東京本社 〒108-6321 東京都港区三田3丁目5番27号（住友不動産三田ツインビル西館）
大阪本社 〒541-8559 大阪府大阪市中央区北浜4丁目5番33号（住友ビル）

札幌	〒061-1274 北海道北広島市大曲工業団地3丁目6番3号	TEL (011) 377-2860
仙台	〒981-3521 宮城県黒川郡大郷町中村字西浦3丁目1番	TEL (022) 359-8665
東京	〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目2番4号（住友不動産東新橋ビル6号館2F）	TEL (03) 6403-8503
名古屋	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4丁目15番32号（日建・住生ビル4F）	TEL (052) 238-1392
大阪	〒541-8559 大阪府大阪市中央区北浜4丁目5番33号（住友ビル4F）	TEL (06) 6222-7534
福岡	〒812-0029 福岡県福岡市博多区古門戸町2丁目4番（KSコンドビル6F）	TEL (092) 282-2010

本社 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2丁目14番6号

開 発	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2丁目14番6号	TEL (03) 5640-2801
東 京	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2丁目14番6号	TEL (03) 3667-3091
名古屋	〒453-0856 愛知県名古屋市中村区並木2丁目129番3	TEL (052) 411-2192
大 阪	〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町1丁目7番3号	TEL (06) 6202-6100
福 岡	〒812-0857 福岡県福岡市博多区西月隈3丁目2番13号	TEL (092) 292-4351



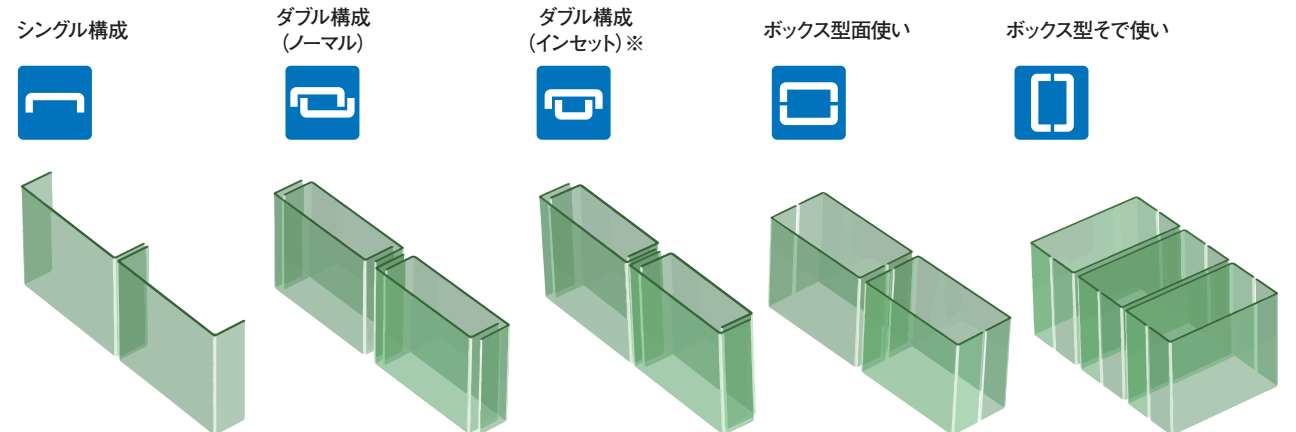
自由なデザイン性と光の空間を演出

PROFILIT™

溝型ガラス／プロフィリット

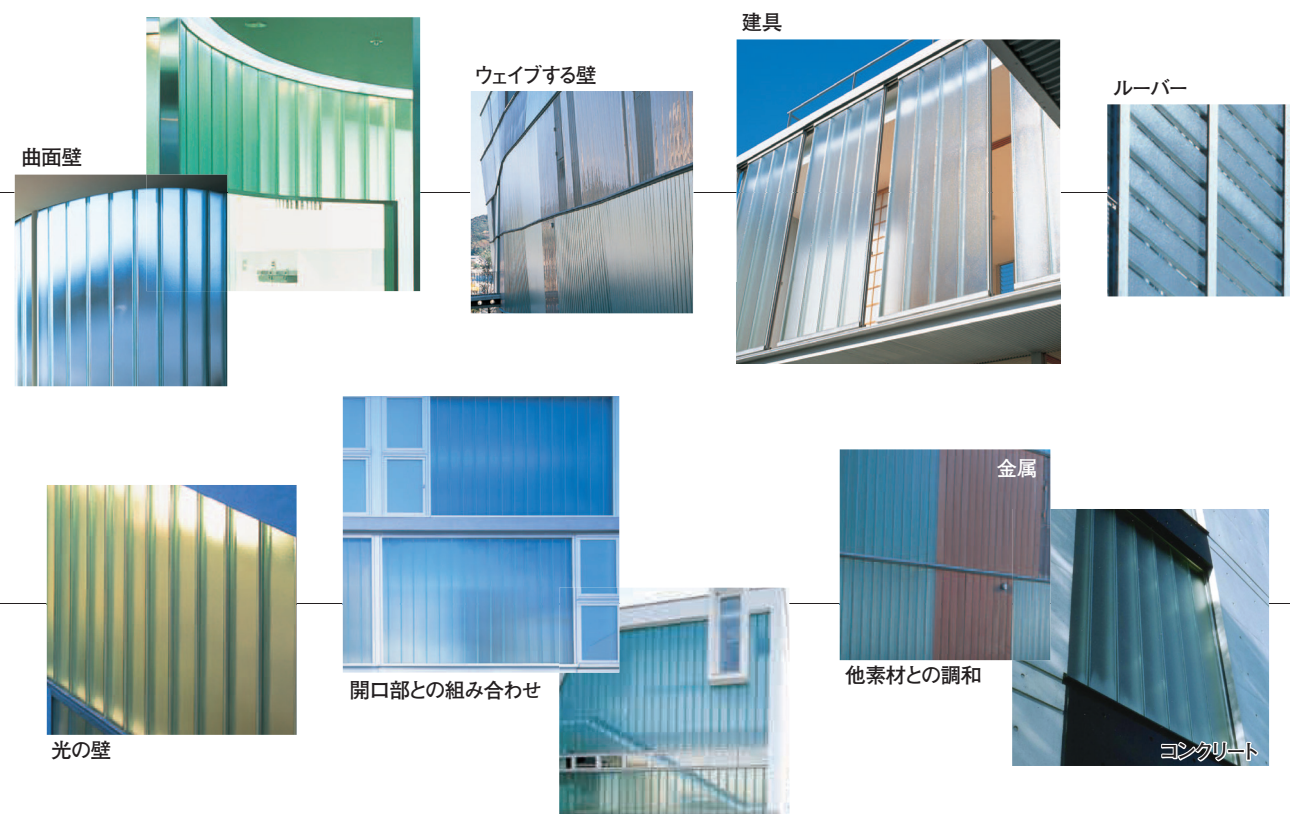
型板ガラスを「コ」の字型に曲げた、シンプルな形状とテクスチャーを持つ「プロフィリット」は、最大で5メートルの高さにおよぶ光の空間を演出します。
あらゆる素材と調和する「多彩性」、曲面壁も構成できる「自在性」、求められる耐風圧・断熱・遮音などの性能に応じた施工方法の「多様性」によって、これからの建築デザインを創造していきます。

【施工方法】



※ダブル構成(インセット)の仕様・性能等についてはお問い合わせください。

【バリエーション】



CASE 1

長尺ガラスを梁で補強したルーバー壁



京都水族館

設計：大成建設

施工：大成建設

所在地：京都府



長尺ガラスをシングル構成で施工するため、ガラス背面に梁を設け、ガラスを補強した事例。通気性・意匠性を確保するため、ルーバー施工を採用。



CASE 2

ガラスを面外に傾斜させたファサード



葛飾区保険所及び子ども総合センター

設計：日総建

施工：金子・川澄・網代建設共同企業体

所在地：東京都葛飾区



R壁面をさらに面外へ傾斜させる事で、独特の意匠性が生まれます。透明ガラスのドアを配置する事で、変化のあるファサードを演出します。



CASE 4

光を透かす断熱材を組み込む

コーセー王子研修センター

設計：日建設計

施工：戸田建設

所在地：東京都北区



ダブル構成のプロフィリットの内側に、「オカパネ」と呼ばれるドイツ製の断熱材を組み込む工法を採用。オカパネは光を透過する特性を持つため、プロフィリットとあいまって独特のファサードを生み出しつつ、室内にもやわらかな明かりをもたらす。



photo_SS 東京



CASE 3

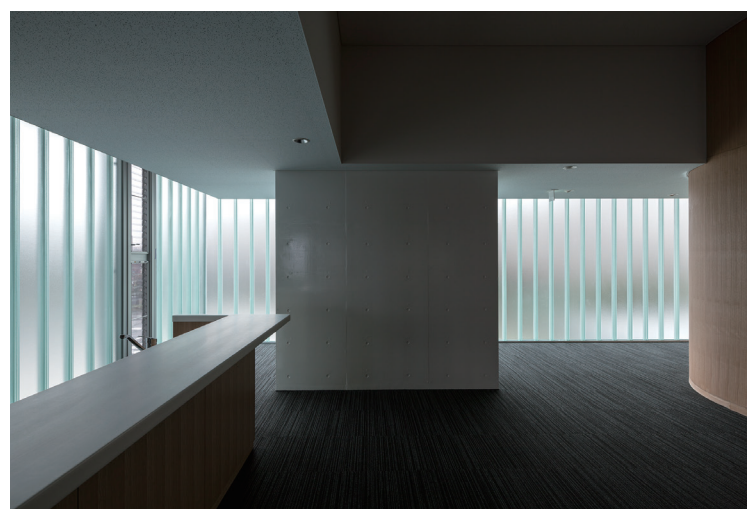
ガラスのみでコーナー部を構成可能

横須賀市救急医療センター・横須賀市医師会館

設計：富永譲+フォルムシステム設計研究所

施工：鹿島建設

所在地：神奈川県横須賀市



ガラス上下2辺支持で風圧強度を発揮できるので、角部には方立が不要です。シャープな外観と連続間のある内観を演出できます。



Technical Information

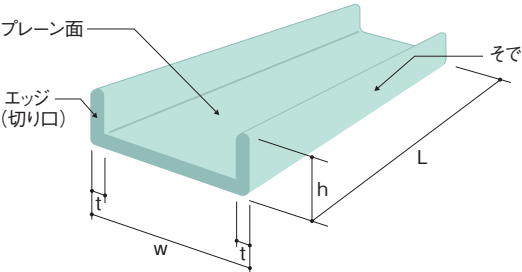
PROFILITTM

▲ 設計・施工上のご注意
破損時は、フロート板ガラスと同様に鋭利な破片となりますので、設計時には衝突防止などにご配慮ください。プロフィリットは、その特性を十分に発揮するために、最適な施工法（特許出願中）を採用しています。詳細設計および加工に当たっては、お問い合わせください。

仕様 specification

[仕様表]				<>内は寸法精度を表します			
商品名	呼び厚さ ミリ	概算重量 kg/m	規格寸法 mm				
プロフィリット	7 <±0.2>	約6.5	w262 × h60 × L3,000 w262 × h60 × L4,000 w262 × h60 × L5,000 <±2.0> <±1.0> <±5.0>				

※防火設備用ガラスとしては使用できません。
※在庫状況などにより納期がかかる場合もあります。また、ダブル構成（インセット）、ボックス型そで使いの
プロフィリットは非在庫品ですので、事前にお問い合わせください。
※上記以外の仕様については、お問い合わせください。



性能 performance

[光学的性能]

施工方法		可視光%		日射%			紫外線% 透過率
		透過率	反射率	透過率	反射率	吸収率	
シングル構成		87.1	5.7	74.8	5.7	19.5	52.2
ダブル構成		76.0	10.0	57.2	8.9	33.9	35.5
ボックス型面使い		76.0	10.0	57.2	8.9	33.9	35.5
ボックス型そで使い		76.0	10.0	57.2	8.9	33.9	35.5

※弊社測定値よりJIS R 3106およびISO9050に基づき算出した数値です。

[熱的性能]

施工方法		熱貫流率 W/m²k	日射熱取得率		遮蔽係数	
			夏	冬	夏	冬
シングル構成		5.52	0.84	0.83	0.95	0.94
ダブル構成		2.70	0.73	0.72	0.83	0.82
ボックス型面使い		2.85	0.73	0.72	0.83	0.82
ボックス型そで使い		2.91	0.73	0.72	0.83	0.82

※JIS R 3106および3107に基づきフロート板ガラス7ミリ相当として算出した数値です。

[遮音性能]

施工方法		平均透過損失 100~2500Hz	遮音等級
シングル構成		27dB	JIS等級T-1 (25等級)
ダブル構成		32dB	JIS等級T-2 (30等級)
ボックス型面使い		32dB	JIS等級T-3 (35等級)
ボックス型そで使い		33dB	JIS等級T-3 (35等級)

※平均透過損失は、JIS A 1416に準拠した弊社測定結果よりJIS A 1419-1に基づき算出した数値です。

プロフィリットのパターン面には型模様がついています。製法上、泡などが目立つことがあります。



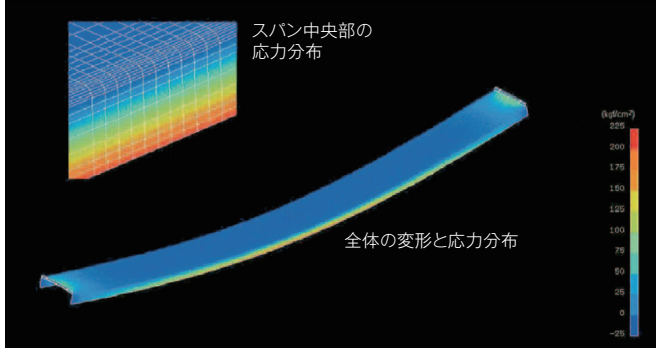
耐風圧性能 Wind load resistance

FEM解析や実大実験により耐風圧性能を確認しています。

耐風圧力

プロフィリットの耐風圧力は、使用する長さによって決まります。また、独特の溝型形状なので、荷重方向や構成によって耐風圧力が異なります。特に、ボックス型そで使いで加工すると、シングル構成やダブル構成と比較して耐風圧力が増加します。

[耐風圧性能のFEM解析例]



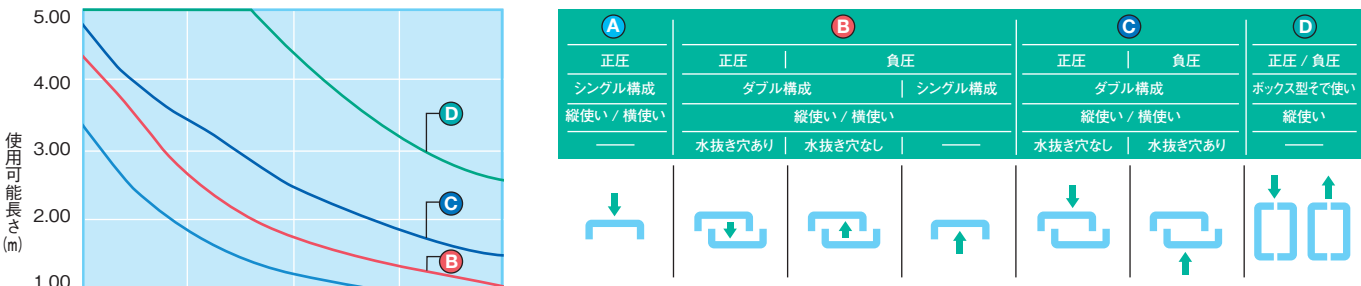
解析条件：プロフィリット寸法=w262×h60×L3000mm、風圧力=1000N/m²

使用可能長さ

プロフィリットは、面やエッジなどの各部許容応力と風圧による各部の発生応力によって使用長さを定めています。

[荷重方向および構成別の使用可能長さ]

表中の図は、上が室外側、下が室内側を表します



※ダブル構成の場合には、サッシ内から室外に通じる水抜き穴の有無によって荷重方向の考え方が異なります。
※ボックス型面使いの使用可能長さは、ダブル構成と同じです。
※ボックス型そで使いの使用可能長さは、標準施工時の値です。さらに高い耐風圧力を発揮することも可能ですので、お問い合わせください。

耐震性能 Seismic resistance

層間変位試験により耐震性能を確認しています。

耐震性能を確保するためには、標準目地幅寸法、サッシとのクリアランス、使用するシール材が重要となりますので、お問い合わせください。

耐衝撃性能 Human impact resistance

「ガラスを用いた開口部の安全設計指針」に基づいて落下高さを設定し、45kgのショットバッグ衝撃試験により、耐衝撃性能を確認しています。

[耐衝撃性能]

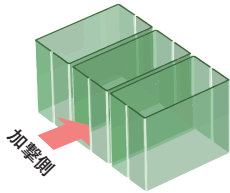
施工方法		45kgショットバッグ落下高さcm		
		30	75	120
ダブル構成		○	×	×
ボックス型そで使い		○	○	○

※○は飛散防止フィルムを貼った場合に対応可能なことを示しています。



試験風景

(ボックス型そで使いのショットバッグ衝撃試験)



〈試験条件〉
ボックス型そで使い
飛散防止フィルムなし
落下高さ750mm

